

# 子育て情報 (園長先生の子育てひろば)

令和2年5月  
椋山女学園大学附属幼稚園

## 梅の実の季節になりました

園長 山中 文

幼稚園では、新年度のこの時期くらいまでは毎年、泣き声とともに「ママがいい～」という声があちこちで聞こえます。でも、今年は、ご存じのように、そんな泣き声になつかしいくらい静かな園になってしまいました。

しかし、このような状況もようやく開けてきました。まだまだ予断を許さないとはいえ、どの園でもそろそろ再開に向けた準備がはじまっています。5月中旬以降は自由登園や分散登園がはじまる場所も多いことでしょう。6月にむけて順調に進んでいけることを願っています。

入園や進級は子どもたちにとって大きな環境の変化ですので、ほとんどの園では短時間の保育から徐々に園に慣れていく過程を大事にしています。今年は、その大事な4月の時期が無かったわけですので、より大きな配慮が必要となっています。

でも、はじめての、あるいは新しい集団生活に不安やストレスがかかって泣いてしまうのは、むしろ当然のことなのです。そして、子どもはなかなかたくましいです。

本園では、休園中動画を配信して、幼稚園でのトイレの仕方、靴の履き方等の生活習慣を親子で一緒に見てもらったり、絵本の読み聞かせやリズム遊び、パネルシアターなどをご家庭で楽しんでもらったりしてきました。きょうは、久しぶりの登園(自由登園)がありましたが、降園時にたまたま会った子どもたちの間で、動画で配信した「メリーゴーランド」をいう歌遊びが自然に始まりました。子どもたちは動画をよく見て遊んでくれたのだと思います。そして、それをちょうど集まった子どもたちと自分たちではじめられるのですから、どんな状況でも楽しいと思うことをはじめられる元気があることをつくづく感じました。長い自粛の日々、子どもたちがぐずることも多かったことと思いますが、たくましい姿をぜひみつけてあげてください。

こんな時でも、ちゃんと梅の木は大きな実をつけていました。登園した年中さんは、去年の梅の実を覚えていて、さっそく探して大事そうに持って帰りましたよ。

